

## 羊丘中学校の実践

### (1) 研究内容

アイヌ民族の方を学校に招いて行うアイヌ文化体験学習

### (2) 学習活動を通して育てたい力

戦争や貧困、差別をなくし、心豊かに生きるためには互いの違いや存在を認め、尊重し、ともに生きていくことが大切であることを理解し、様々な人たちと平等に接することができる態度の育成。

### (3) 実践内容

#### ○ ねらい

アイヌ文化などを切り口としながら、アイヌ民族の人権を知り、共に生きていくことや人権を大切にする態度を育てる。

#### ○ 学習内容

- ・ 民族の歴史や文化を紹介
- ・ 伝統楽器を用いた演奏や歌、踊りの披露
- ・ 今を生きるアイヌとしての誇りや思いを伝える



### (4) 成果と課題

#### ① 成果

- ・ 民族音楽と現代音楽をミックスした音楽を聴くことによって、生徒たちは、アイヌ民族を身近に感じることができたようだ。
- ・ 江戸・明治時代のアイヌ民族の歴史学習と体験学習を関連付けることで、生徒の興味・関心が高まり、歴史と現在の連続性を感じさせることができた。
- ・ 歴史学習と体験学習を関連付けることで、『アイヌ民族：歴史と現在』を有効活用することができ、心情面から迫ることができた。
- ・ 2年生でアイヌ民族に関する人権教育を行えたことで、3年生の公民的分野での人権教育に道をつけることができた。

#### ② 課題

- ・ アイヌ民族の方々との打合せや交流を、事前に十分行うことができなかつたため、生徒の心の構えを十分につくることができなかつた。
- ・ 体験学習と教科の学習をどう関連付けて行うか、計画的に行えるかがこの実践を効果的に行うにあたって大きな課題であると思われる。